30

サステナビリティ経営のための取り組み重点テーマ

ほくほくフィナンシャルグループは、企業の持続的成長のために必要とされるESG(環境、社会、ガバナンス)や、国際連合が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)等の視点を踏まえて、それらの課題に対応した活動に積極的に取り組み、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指すため、2019年4月1日、「CSR活動における取り組み重点テーマ」を制定しています。

重点テーマ特定プロセス

課題の収集 量要度に応じた整理 最終整理

全銀協SDGs推進方針、国連「持続可能な開発目標(SDGs)」、GRIガイドライン(スタンダード)、SASBセクター別ガイドライン、ESG外部評価機関評価項目、他行状況を参考に150の項目を網羅的に抽出。

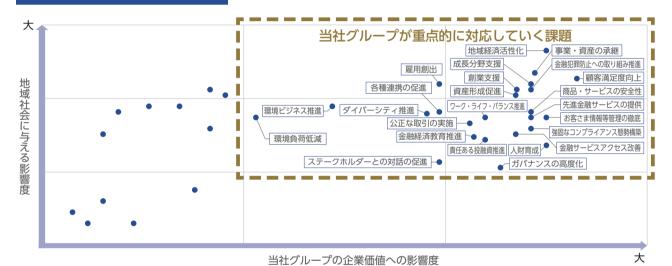
収集した結果をもとに36項目を抽出。また、「地域社会に与える影響度」と「当社グループの企業価値への影響度」の観点で重要度に応じた順位付けを実施。

順位結果をもとに24項目を5つの テーマに整理し、重点テーマとして 特定。 ほくほくフィナンシャルグループと して取り組むべき重点テーマにつ いて、当社グループの経営会議お よび取締役会において承認。

当社グループ経営層への

報告•承認

重要度に応じた順位付け



最終整理

経営理念	重点課題	重点テーマ
地域共栄	地域経済活性化 責任ある投融資推進 環境ビジネス推進 成長分野支援 創業支援 雇用創出 各種連携の促進 環境負荷低減 金融経済教育推進	持続可能な地域社会の実現
	資産形成促進 事業・資産の承継	地域における金融リテラシーの向上
公正堅実	ガバナンスの高度化 強固なコンプライアンス態勢構築 金融犯罪防止への取り組み推進 公正な取引の実施 お客さま情報等管理の徹底 ステークホルダーとの対話の促進	健全で強靭な経営基盤の構築
進取創造	先進金融サービスの提供 金融サービスアクセス改善 商品・サービスの安全性 顧客満足度向上	すべてのお客さまにとっての利便性の向上
	ダイバーシティ推進 ワーク・ライフ・バランス推進 人財育成	生産性向上につながる職場づくり

ほくほくフィナンシャルグループの取り組み重点テーマ <u> 重点テーマ</u> 経営理念 持続可能な地域社会の実現 総合的なコン サル対応力の SDGsやESG等の課題を踏まえた建設的対話の促進等に 向上 よる地域金融機関としての責任ある投融資への取り組 P37 みやスタートアップ企業や地域における成長企業への 積極的な支援を通じた安定的な雇用創出への取り組み、 GX戦略(環境分 野への取り組み) 各種自治体やお客さまとの連携の促進により持続可能 P45 な地域社会の実現に貢献する 地域共栄 GX戦略(環境分 再生可能エネルギーの利用促進、温室効果ガス排出量の 野への取り組み) 削減等環境負荷の低減に努める P45 地域における金融リテラシーの向上 総合的なコン 金融経済教育や金融コンサルティングによりお客さま サル対応力の や子供たちの金融リテラシー向上に取り組み、将来に向 向上 けた資産形成や円滑な事業・資産承継を支援する P37 健全で強靭な経営基盤の構築 G ステークホル ダーコミュニ ケーション 公正堅実 ステークホルダーとの対話促進により透明性を高め、ガ P79 バナンスの高度化や各種リスク管理の徹底、更なるコン グループガバ プライアンスの強化により強靭な経営基盤を構築する ナンスの強化 P89 すべてのお客さまにとっての利便性の向上 先進的ですべてのお客さまがアクセスしやすく安心し DXの推進 て利用できる金融商品・サービスの提供を通じて、更な (€) P59 る利便性の向上に努める

進取創造

生産性向上につながる職場づくり

多様な人財の活躍推進や育児・介護等の両立支援等の働き方改革推進、将来を担う人財の育成を通じ、働きがい・ やりがいを持てる職場づくりに取り組む



人的資本経営 の取り組み P63

中期経営計画の進捗状況

中期経営計画(2022年4月~2025年3月)

Go forward with Our Region

位置づけ

長期ビジョンの実現に向けて、コンサル対応力の向上やDXの推進等による生産性の向上に取組む とともに、環境分野など新たな事業領域に挑戦する期間

環境

DX

重点戦略

6つの重点戦略

総合的なコンサル対応力の向上 ・ソリューションメニューの高度化・拡充

- ・セグメント戦略による取引採算向上
- ・新型コロナウイルス対応支援
- ・コンサルティング提案力の強化

グループガバナンスの強化

- ・自己資本と株主還元充実 ・運用の高度化・多様化
- ・リスク管理態勢の高度化

グループ総合力の強化

- ・ほくほく連携の更なる進化
- ・関連子会社・親密会社との連携強化に よる総合金融サービスの提供

グループ 総合力

ガバナンス

コンサル

貢献

地域

社会への

ウェル ビーイング

ウェルビーイングのある 働き方の実現

DXの推進

- ・就労環境/制度の整備
- ・多様な働き方の実現

環境分野への取り組み

・自社におけるCO2排出量削減

・デジタルバンキング機能の強化

・デジタルを活用した業務改革

・自治体や各種団体等との連携強化

・TCFD提言への対応

・環境ビジネスの強化

・スキルアップ支援の強化

	連結/2行合算		2023年度		2024年度	
			実績	前期比	目標	
	1	連結当期純利益	230億円	+16億円	250億円以上	
重点	2	連結自己資本比率	9.40%	△0.09%	9%台後半	
打日 作示	指標 ③ OHR		65.24%	+2.85%	60%台前半	
	4	非金利収入比率(非金利収入額)	15.98% (190億円)	△0.16% (△3億円)	16%台(200億円以上)	
	5	環境関連投融資実行額(累計)	2,295億円	+821億円	2,100億円	

※OHR、非金利収入比率(額)、環境関連投融資実行額は2行合算

総合的なコンサル対応力の向上 積立型商品契約先数 法人ソリューション 収益額 52 50







(件)	24/3期 前期比		25/3期 目標
M&A·事業承継支援件数	389	+34	450
(億円)	24/2		25/3末
	24/3末	前期比	目標
預かり資産残高	6,292	前期比 +933	目標 6,500

※2行の投資	言託残高及:	びTT証券の	の預かり	資産残高の	合計

(IIL)	0.4./0#0		25/3期 目標	
(件)	24/3期	前期比		
信託・一時払保険契約件数	15,453	+3,972	10,300	

※信託系商品及び一時払生命保険の契約件数

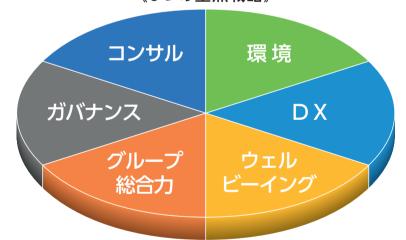
環境分野への取り組み



(件・累計)		0.4.(0.00		25/3期
		24/3期	前期比	目標
SDGs · 現	環境関連サービス利用件数	1,677	△85	800

DXの推進					
(先)	24/3末 前期比				
IB・アプリ契約先数	876,255	+165,869	950,000		
(口座)	24/3末	前期比	25/3末 目標		
WEB□座数	365,478	+77,500	470,000		

《6つの重点戦略》



グループ総合力の強化

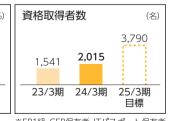


(億円)	24/3末	24/3末 前期比	
北海道地区貸出残高	33,063	0	34,412
(#)	24/2#8		25/3末
(件)	牛) 24/3期		目標
ほくほく連携実現件数	1,281	△620	900

※2行の連携によるお客さまの課題解決に資する取り組み(協調融資やビジネスマッチング等)

ウェルビーイングのある働き方の実現





32

※FP1級・CFP保有者、ITパスポート保有者